

経営協議会（第3回）議事要録

日 時	令和元年12月2日（火）午後1時30分～午後2時55分
場 所	中会議室
出席者	学長、遠藤、鈴木、瀬戸、田村、野中、前田、宮内、岡、松岡、中地の各委員
欠席者	佐々木、松本の各委員
配付資料	学長冒頭説明資料 資料1 「『国立大学改革方針』を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施について（文科省通知）」 資料2 「平成30年度業務実績に関する評価結果について」 資料3 「令和元（平成31）年度科学研究費助成事業採択結果及び令和2年度科学研究費助成事業の申請状況について」 資料4 「数理・データサイエンス教育の強化への支援に係る調書の提出について」 資料5 「本学の財政構造について」 資料6 「令和2年度学内予算配分方針作成作業での骨格となる方針・考え方について」 資料7 「教員養成大学である宮城教育大学ならではの事務職員の育成について」 資料8 「2018（平成30）事業年度財務諸表の承認について」 資料9 「財務レポート2019について」 資料10 「令和元年人事院勧告等に伴う本学役職員の給与の取扱方針（案）について」

学長挨拶

学長から、開催にあたり挨拶があった後、財務担当理事から学長冒頭説明資料に基づき前回経営協議会以降の本学の状況及び改革状況等について報告があり、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。

- ・日本においては、コンピュータ関係の授業が諸外国に比し遅れている。シンガポールなどでは、年度当初に教育の指針を定めるなどしており、成長産業への投資、非認知能力の向上などが重点施策となっている。
- ・情報教育に力点を置くことは、従来型の講座を基盤とした教育体制では実現が難しいので、新たな教員組織整備が必要である。

議 事

○議事要録の確認

7月11日（木）開催の経営協議会（令和元年度第2回）の議事要録は、原案どおり確認した。

○報告事項

- (1) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施について（文科省通知）
財務担当理事から、配付資料1に基づき報告があった。
- (2) 平成30年度業務実績に関する評価結果について
総務担当理事から、配付資料2に基づき報告があった。
- (3) 令和元（平成31）年度科学研究費助成事業採択結果及び令和2年度科学研究費助成事業の申請状況について
総務担当理事から、配付資料3に基づき報告があった。
- (4) 数理・データサイエンス教育の強化への支援に係る調書の提出について
財務担当理事から、配付資料4に基づき報告があった。
- (5) 本学の財政構造について
総務担当理事から、配付資料5に基づき報告があった。

- (6) 令和2年度学内予算配分方針作成作業での骨格となる方針・考え方について
財務担当理事から、配付資料6に基づき報告があった。
- (7) 教員養成大学である宮城教育大学ならではの事務職員の育成について
財務担当理事から、配付資料7に基づき報告があった後、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。
- ・人材養成に向けて育成方針を定めることは良いことであり、具体的な取組推進にあたっていただきたい。
 - ・教員養成大学ならではの人材養成という意味では、数年後の達成目標を掲げて、その手順を立案することが具体化のための重要な鍵となる。その立案に際しては学内手続きの透明性の確保及び当事者全体による議論が望まれる。
- (8) 2018（平成30）事業年度財務諸表の承認について
財務担当理事から、配付資料8に基づき報告があった。
- (9) 財務レポート2019について
財務担当理事から、配付資料9に基づき報告があった。
- (10) その他
なし

○審議事項

- (1) 令和元年人事院勧告等に伴う本学役職員の給与の取扱方針(案)について
議長から、概要説明の後、総務課長（代：総務課副課長）から、配付資料10に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
- (2) その他
- ・今後、学校でPCが全員に配付されることになり、教員がきちんと教えられるようになることが必要とされるため、現場においてPCの指導できる教育の育成をしっかりと行って欲しいとの意見があった。

以 上